

令和3(2021)年度 麗澤中学・高等学校 学校評価

麗澤教育の理念

麗澤教育は、創立者廣池千九郎が提唱した道徳科学「モラロジー」に基づく知徳一体の教育を基本理念とし、学生生徒の心に仁愛の精神を培い、その上に現代の科学、技術、知識を修得させ、国家、社会の発展と人類の安心、平和、幸福の実現に寄与できる人物を育成する。

麗澤教育のめざす人間像

1. 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い叡智を備えた人物
2. 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物
3. 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物

自己評価

1. 令和3年度 麗澤中学・高等学校の重点目標

【評価】 A. よく実施できた B. 実施できた C. 不十分であった

- (1) ビジョン実現に向けて、中期計画を着実に実行し、経営基盤の安定化を図る。(B)
- (2) 教育内容の充実を図る。
 - 1) 各学年が掲げる進路目標、学習目標の実現に向けて、学年部長を中心に教育内容の充実を図る。(B)
 - 2) ICT教育の実用化に向けて、施設整備を進めると共に、教員の活用能力を高める。(A)
 - 3) 女子寮の施設・設備の見直しを図り、移転を含めた検討を具体化させる。(C)
 - 4) 女子ラグビー部の強化のため、留学生2名を受け入れ、チーム力向上に努める。(C)
- (3) 広報戦略の教科
 - 1) 中学入試における募集戦略を見直し、より質の高い入学生の確保に努める。(A)
 - 2) 高校入試においては、塾広報強化などに努め、志願者増に向けての諸方策を実施する。(A)
 - 3) より効果的な広報活動のために、校内外の広報イベントの大幅な見直しを図り、塾や学部機関との関係強化に努める。(A)
- (4) 働き方改革の推進
 - 1) 勤務体制改革の更なる充実を図ることで、教員の業務の効率化を推進すると共に、教員間の業務の適正な配分の実現を目指す。(B)
 - 2) 教員の超過勤務を更に縮減することにより、ワークライフバランスを心掛けた職場環境づくりを目指す。(B)

2. 生徒による授業評価アンケート

本校では、過去 25 年間、北辰図書株式会社および株式会社ブレーンアカデミーが実施する授業評価アンケートを行ってきたが、教員の授業の改善にとってよりプラスになると判断して、令和元（2019）年度より、新たに代々木ゼミナール教育研究所によるアンケートに変更し、内容を一新した。このアンケートは、中学校、高等学校それぞれ全クラスの生徒に対して、生徒が受けるすべての授業を評価するものである。

[アンケートに記載されている質問]

1. 先生の話し方は、聞き取りやすく、メリハリがあって、理解しやすい。【話し方】
2. 授業の目的や到達目標、予習・復習を含む授業への取り組み方や活用方法について、先生は事前に十分な説明をしてくれる。【ガイダンス】
3. 先生の説明は組み立てや例示が工夫され、理解を確認しながら授業が進められている。【説明工夫】
4. 《教壇系》板書（パワーポイント等の自作教材を含む）は、見やすく整理されており、復習する時に役立っている。【板書】
4. 《実技系》先生の指示や授業の決まり事は明瞭で、戸惑いなく行動できる。【指示】
5. 《教壇系》授業では集中できる環境を整えるための助言や工夫が随時なされ、宿題・課題・テストを通じて、授業で学んだことを応用する機会がきちんと設けられている。【助言】
5. 《実技系》授業内では、必要に応じて集中できる環境を整えるための工夫がなされ、技能・発表・作品等について授業で示された観点で評価され開演への助言が与えられる。【助言】
6. 先生の授業には熱意を感じる。【熱意】
7. この授業を受けて、進路実現に向けての学力や技能の向上を実感できている。【学習効果】
8. 私は、この授業（学習や練習、課題など）に積極的に取り組んでいる。【意識・姿勢】
9. 授業の進み方（スピード）は、あなたにとってどうですか。【進み方】
10. 教材や課題の難易度はあなたにとってどうですか。【難易度】

※ 上記の回答方法

質問 1～7 については、

「非常によく当てはまる」（10 点）、「よく当てはまる」（8 点）

「どちらかといえば当てはまる」（6 点）、「あまり当てはまらない」（4 点）

「当てはまらない」（2 点）

の 5 つの回答から 1 つを選択する。

質問 8 については、「非常によくあてはまる」（10 点）、「よくあてはまる」（5 点）

「どちらかといえば当てはまる」（0 点）、「あまり当てはまらない」（-5 点）

「当てはまらない」（-10 点）

質問 9 については、「速すぎる」（10 点）、「やや速い」（5 点）、「ちょうどいい」（0 点）

「やや遅い」（-5 点）「遅すぎる」（-10 点）の 5 つの回答から 1 つを選択する。

質問 10 については「難しすぎる」（10 点）「やや難しい」（5 点）「ちょうどいい」（0 点）

「やや易しい」（-5 点）、「易すぎる」（-10 点）の 5 つの回答から 1 つを選択する。

中学（1年生～3年生）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年度	全体平均	話し方	ガイダンス	説明工夫	板書指示	助言	熱意	学習効果	意識姿勢	進み方	難易度
2019	82.7	83.6	83.3	83.0	83.1	82.7	84.0	79.7	5.8	1.4	1.6
2020	83.7	84.6	83.9	84.3	84.4	83.7	85.0	80.0	4.7	1.3	1.6
2021	84.2	85.5	84.4	84.5	84.3	84.2	86.2	80.5	4.8	1.2	1.5

高校（1年生～3年生）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
年度	全体平均	話し方	ガイダンス	説明工夫	板書指示	助言	熱意	学習効果	意識姿勢	進み方	難易度
2019	82.4	82.8	82.3	82.4	83.0	82.9	84.9	78.8	5.8	1.5	1.8
2020	81.9	81.5	81.7	82.2	82.5	82.3	84.3	78.9	4.4	1.2	1.5
2021	83.9	84.0	83.9	84.2	84.4	84.5	86.6	79.9	4.4	1.0	1.4

〔評価の見方〕

- ・ 質問1～7については、回答者（生徒）各自の点数を総合したものを得点率（％）で表示している。
- ・ 質問8～10については、回答者（生徒）各自の点数を平均した点数（10点満点）で表示している。
- ・ 質問1～7については、100％は「すべての生徒が非常によく当てはまると回答」した場合であり、50％は「生徒の評価がプラスとマイナスの中間点に位置する」場合であり、20％は「すべての生徒が当てはまらないと回答」した場合である。
- ・ 質問8については、10点は「すべての生徒が非常によく当てはまると回答」した場合であり、0点は「すべての生徒がどちらかといえば当てはまると回答」した場合であり、-10点は「すべての生徒が当てはまらないと回答」した場合である。
- ・ 質問9については、10点は「すべての生徒が速すぎると回答」した場合であり、0点は「すべての生徒がちょうどいいと回答」した場合であり、-10点は「すべての生徒が遅すぎると回答」した場合である。
- ・ 質問10については、10点は「すべての生徒が難しすぎると回答」した場合であり、0点は「すべての生徒がちょうどいいと回答」した場合であり、-10点は「すべての生徒が易しすぎると回答」した場合である。
- ・ 全体平均の値は、中高ともに、質問1～7の総合得点を平均化した数値であり、学校全体の平均値を意味している。

〔講評〕

- ・ 「授業評価」については、中学校は、7項目中6項目において昨年より上回り、全体平均も0.5ポイント上昇した。最も高い評価が昨年に引き続き「熱意」であり、一番低かった学習効果も80%を超えることができた。また高校は、全項目が昨年を上回り過去最高になると共に、全体平均も2.0ポイント上昇した。中高ともに生徒の授業に対する満足度は、右肩上がりで上昇しているといえる。
- ・ 生徒の授業に臨む「意識・姿勢」については、中学は+0.1ポイント、高校は±0ポイントとなり、昨年並みといえる。一昨年のように5点越えを目指したい。
- ・ 授業進捗については、本校では高い進路目標を実現するためには、「授業速度」を一定の速度で進める必要があると考えている。すなわちより速く進め、それに着いていける生徒を養成したいと考えているため、進捗が速いことが高い評価につながる形にしている。その点で、今回中学が昨年より-0.1ポイント、高校が-0.2ポイントとなっていることから「やや速い」から「ちょうどいい速さ」へと、少しシフトしたと考えられる。つまり生徒の学力レベルと授業レベルが昨年度より適合化し、授業進捗について来られる生徒が少し増えていると考えることができる。
- ・ 授業難易度についても、同様に高い進路目標を実現するためには、「授業難易度」を生徒の状況に合わせて少し高めに設定することを目指しており、難度が高いことが高い評価につながる形にしている。今回、中高共に昨年度と比べて-0.1ポイントとなっており、年々、学校の授業難度により多くの生徒が適応するようになっていることがわかる。
- ・ このアンケートにおいては、目標到達値を各項目とも「75%」と設定しており、75%以上であれば、全体として一定水準以上の授業が行われていると考える。このアンケートを採用している中高は全国で約140校であり、その中で「75%到達率（75%以上であった生徒の校内比率）」の平均値は約「50%」となっている。本校の場合、「75%到達率」は、中学が「86.1%」、高校が「86.0%」となっており、中高ともに、全国平均の50%を大きく上回っている。全体的に生徒の授業に対する満足度は高いと考えられる。

学校関係者評価

- ・ 例年、学校関係者評価は、本校の保護者役員の中から希望者を募って、学校に直接来校していただき、本校の教育活動（授業、部活動、教職員の諸活動等）全般を観察・評価する方法を採っているが、本年度は、新型コロナウイルス感染拡大（オミクロン株）による感染者の急激な拡大を受けて、来校制限を設けざるを得なかったため、アンケート形式で実施することとした。アンケート形式であるため、例年と質問項目が少し異なっている。
- ・ 学校評価委員による学校評価
- ・ 実施期間 : 令和4年2月19日（土）～24日（木）
- ・ 評価委員 : 15名（中高保護者会役員）

* () の中の数字は評価委員の人数である。

* 評価委員による評価がない場合もある。

評 価 : A=良好、 B=普通、 C=課題がある、 D=よくわからない

1. 授業に関して

- ⇒ 教員の熱意を感じることができるか。(A (12) B (2) C (0) D (1))
- ⇒ 生徒は意欲的に学習に取り組んでいるか。(A (7) B (4) C (1) D (3))
- ⇒ 宿題や家庭学習指導は、十分に行われているか。(A(10) B(3) C(0) D(2))

所見

- ・ コロナ禍で学習のペースが掴みにくいことも多かった。
- ・ 生徒からの申出に対し、個別指導やプリント等を用意してご指導いただけることに、心から感謝を申し上げます。
- ・ 大学受験に向けた熱心な指導プログラムは、とても高く評価しております。

2. 部活動に関して

- ⇒ 部活動の顧問は熱心に指導しているか。(A (7) B (5) C (0) D (3))
- ⇒ 生徒は生き生きと部活動に参加しているか。(A (8) B (4) C (0) D (3))
- ⇒ 施設や設備は十分に整い、安全性は保たれているか。(A(5) B (3) C (4) D (3))

所見

- ・ コロナ禍の影響も有ったが、特にテニス部の部室の老朽化は生徒が不満に思っているようである。
- ・ 部員数に対してテニス部のコート数が少ない様におもえました。
- ・ 活動施設の偏りは、子供間でも不平不満が上がっているようです。
- ・ コーチの強化に力を入れて欲しいと思います。ゴルフ部の再強化をお願いします。
- ・ 部活動によっては、部室が古い。

3. 生徒指導に関して

- ⇒ 生徒の服装や言葉遣いは適切であるか。(A (8) B (4) C (2) D (1))
- ⇒ 登下校中(歩行、バス)のマナーは守られているか。(A(1) B (8) C (2) D (4))
- ⇒ 挨拶ができているか。(A (6) B (4) C (4) D (1))

所見

- ・ 南柏の改札を出た場所などで携帯の対戦ゲームをしている生徒を見かけることが時にあることが心配。

- ・ 下校時、光ヶ丘小学校裏の道を車でよく通行します。その際生徒同士で声掛けあって、必ず道をあけてくれます。学校の指導が行き渡っているのと、生徒の意識の高さを感じております
- ・ 挨拶の有無の差はかなりありますが、これは一人ひとりの意識の問題でしょう。
- ・ 数年前と比べ校内で挨拶をしてくれる生徒が格段に減ったと思います。またスカートの短い女子生徒が多く見られるようになりました。

4. 教職員に関して

- ⇒ 言葉遣いや服装は適切で好ましいか。(A (13) B (1) C (1) D (0))
- ⇒ 挨拶ができているか。(A (11) B (3) C (1) D (0))
- ⇒ 事務室の職員の対応は適切であるか。(A (15) B (0) C (0) D (0))

所見

- ・ 言葉遣いが良くない教員がいるらしい。
- ・ いつも丁寧に対応してくださり熱意も感じます。
- ・ いつも温かいご指導に感謝しております。
- ・ 生徒が挨拶をしても、挨拶を返してくれない先生がいると聞きました。特定の先生だけでしょうが、そのような先生がいることは問題があると思います。

5. 寮生活に関して

- ⇒ 寮担任と寮生とは信頼関係で結ばれているか。(A (1) B (0) C (0) D (14))
- ⇒ 寮生は和やかな雰囲気の中で生活をしているか。(A (1) B (0) C (0) D (14))
- ⇒ 日課に従った生活をしているか。(A (1) B (0) C (0) D (14))

所見

なし

6. 給食に関すること

- ⇒ 栄養のバランス、カロリーなど十分に配慮がされているか。(A (5) B (9) C (0) D (1))
- ⇒ 食材や食器の安全性・衛生面において安心できるか。(A (7) B (7) C (0) D (1))
- ⇒ 生徒は、食事の内容(味・量・見映え)に満足しているか。(A (2) B (6) C (6) D (1))

所見

- ・ 調味料のドレッシングやマヨネーズ、ケチャップなども自由に使えるといいと思います。
- ・ デザートが少ない。コップが茶渋で汚れているので、新しくしてほしい。
- ・ 給食への生徒の不満は聞こえてきますが、我が家の子どもは意外と満足してます
- ・ バランスやカロリーなどはきちんとされていると思いますが子供からはやはり味が合わない、量が少ないなどと聞いています。
- ・ 味については改善の余地が多くあるそうです。
- ・ 主菜をよそうときにトングなどを使ってほしいそうです。

7. 防災対策に関して

- ⇒ 大規模地震等に対する学校の対応は整っているか。(A (10) B (2) C (0) D (3))
- ⇒ 緊急時における保護者への連絡手段は整備されているか。(A (10) B (3) C (0) D (2))
- ⇒ 健康観察や手指消毒など、感染予防は徹底されているか。(A (10) B (2) C (2) D (1))

所見

- ・ 学校の安全対策に期待しています
- ・ コロナ感染が心配される時期にマスクをしない生徒が多数いたようですが、すれ違っても注意をされない先生が多かったようです。子ども同士では注意しづらい事もあるため、もっと厳しく対処していただきたかったです。

8. その他

⇒ ホームページの更新の状況や内容は適切か。(A (9) B (5) C (0) D (1))

⇒ 学級通信、学年通信、部活動通信の内容は適切か。(A (11) B (4) C (0) D (0))

所見

- ・ 子供から伝え漏れている情報を、R net からいただけるので、大変助かります。
- ・ R-net に送られてくる文章が非常に読み難い時がありました。保護者へのお知らせならば伝える内容をシンプルにわかりやすい文章で書いていただきたかったです。

9. 上記の項目以外での所見

- ・ 全教科、早く電子教科書対応にしてほしい。コロナ関係で急に欠席になると大変困る。週末に復習のために教科書を全部持ち帰るととても重くなり、体に負担がかかるため。
- ・ いつも有難うございました。
- ・ コロナ禍で学校に出向く機会が減り、また保護者の方と話す機会も減り生徒たちの様子がよくわからない。
- ・ オンライン授業等学校側の対応は早く安心してお任せしているが、先生側の熱意と生徒側のやる気が比例していないように思う。
- ・ 道徳を学べる学校という所が他にない特徴であり、この学校を選んだ理由でもありました。ここ数年、道徳教育が大変疎かになってしまったように感じ、非常に残念に思います。